



自立する力をつける

将来なりたい姿

強い心を育てる

今あるべき姿

学力向上・自発学習

伸ばす力

1 「10年目の稔」の姿を明確にする議論を深め、創立10周年に向け飛躍する

- ア 生徒受入れのあり方…募集・広報活動を充実させ、本校のミッションを正確に伝える。
- イ 生徒の成長のあり方…「稔ミニマム」を策定し、生徒指導とキャリア教育の充実、「笑顔で挨拶」の励行、転・退学者数の減少を図る。
- ウ 卒業・進路のあり方…教育課程やキャリア教育の工夫、進路決定率の向上、特別支援教育の導入と活用
- エ 学習支援のあり方…「やったらできた、やればできる、自発学習」を支える授業実践、「誉めて伸ばす」、ユニバーサルデザイン
- オ 生徒相談のあり方…カウンセリング委員会、スクールカウンセラー・みのりの場の活用
- カ 学校生活のあり方…学校行事（文化祭、みのり杯、授業発表会）・進路体験行事の充実
- キ 学校のしくみのあり方…2期制、三部制、他部履修などを駆使した柔軟な学習システム
- ク 外部関係のあり方…みのり保護者の会、社会福祉協議会や若者サポートステーション等の外部の関係機関との連携を推進する
- ケ 教員集団のあり方…課題意識の共有とOJTの推進、教員相互の学びあい（校内研修）

今年度の目標と方策

2 学習指導

- ア スモールステップを活用し、「やったらできた」の達成感、「やればできる」の自己効力感を養い、「自発学習」する生徒を育てる。
 - ・学習到達目標を明確にし、小さな達成感を積み重ねて自己効力感を育てる。
 - ・毎回の小テストや自宅課題の工夫で「自発学習」を習慣づける。
 - ・学カスタンダードや学力調査問題を活用し、学力を定点分析する。
 - ・基礎力診断テスト結果を活用し、外部試験でも積極的に受験させる。
- イ 長期休業日中にも学習指導を切らさない。
 - ・発展的な学習を望む生徒には、学力にふさわしい指導を行う。
- ウ 授業の質を向上させる。
 - ・言語活動を導入し、生徒を積極的に授業に参加させる。
 - ・ICT機器を使った授業の工夫・改善を推進する。
 - ・生徒による授業評価を行い、授業改善策を各教員でまとめる
 - ・研究授業、相互授業見学や授業実践交流会を行い、授業改善に還元する。

3 キャリア教育指導

- ア 組織的なキャリア教育を確立する。
 - ・1年次から卒業年次までの一貫したキャリア教育を確立する。
 - ・組織的なキャリア教育をキャリア教育部の主導で行う体制を作る。
- イ キャリア教育を通して「社会的な自立」につなげる。
 - ・1年次のキャリア教育により、社会の中での自他の肯定感を高め登校と定着を確立する。
 - ・2年次以降のキャリア教育により、仲間同士の支え合いの中で自己の社会的役割に気付かせ、進路意識を高める。
 - ・卒業年次のキャリア教育で各自に合った進路の実現、社会的自立を実現する。
- ウ 「社会的な自立」を実現する指導を行う。
 - ・生徒の目標となる大学を積極的に開拓する。
 - ・特別支援教育に配慮した進路指導を行う。
 - ・ハローワークや若者サポートステーション等の外部機関と積極的に連携する。
 - ・自立のための社会的技能・態度等を育成する指導を推進する。

4 生徒指導

- （学校生活）
- 「他人のチャレンジを邪魔しない」を前提に、「当たり前のことを当たり前」に、「ダメなことはダメ」であることを組織的に指導する。
- ア 安心安全な学校を創る。
 - ・生命と人権を尊重させ、自他のチャレンジを尊重する。
- イ 落ち着いた学校生活をおくらせる。
 - ・ノーチャイム制を敷き時間の管理ができるように自覚を促す。
 - ・全校で「笑顔で挨拶」を励行する。
 - ・校風の正しい着用（特にスカート丈）を徹底する。
- ウ きれいな学校環境を守る。
 - ・校内清掃を徹底し、ゴミ分別活動を推進する。
- （特別活動・部活動）
- ア 文化祭、みのり杯、進路体験行事を充実させる。
- イ 生徒の自主性を育てる生徒会活動を推進させる。
- ウ 生徒の個性を引き出す部活動を活性化させる。
- 5 防災教育
 - ア 災害に備えた校内体制を整える。（学校安全・防災対策委員会）
 - イ 震災を想定した防災訓練を行なう。（年4回）
 - ウ 災害に対応できる備蓄を行なう。（企画室、総務部）

6 保健指導（心と体の健康づくり）

- ア カウンセリング委員会を中心に種々の相談機能（スクールカウンセラー、特別支援教育コーディネーター、みのりの場等）を向上させる。
- イ 情報交換会における生徒情報を活かし、特別支援教育コーディネーターを中心に配慮を要する生徒の支援の立案を行う。
- ウ 学校保健計画、学校安全計画を立案し実行する。
- 7 募集・広報活動
 - ア 個別相談、各種説明会を通して受検生や保護者、中学校、適応指導教室等への学校理解を深める。
 - イ 入学選抜検査の結果を分析し、今後の改善に活用する。
 - ウ Web ページを充実させ、中学校や適応指導教室等に情報を発信し、募集・広報活動の改善・工夫する。
- 8 地域交流、保護者
 - ア 幼稚園や小・中学校、特別支援学校、町会、社会福祉協議会等、地域の関係機関との連携を強化する。
 - イ 生徒のボランティア活動を奨励し、地域との交流活動を推進する。
 - ウ 「みのり保護者の会」の組織化に協力し、連携を図る。

9 経営企画室

- ア 経営改善企画や施策提言を行い、経営参画型の企画室を構築する。
- イ 効率的な予算執行を通して、学校経営計画を具現化する。
- ウ 常に正副の担当で業務をカバーする。
- 10 環境整備担当
 - ア 清潔で安全な学校環境を維持整備する。
 - イ ゴミの分別指導や共通部分の清掃を徹底する。
 - ウ 校内の施設・設備の点検に努め、不具合情報を企画室に速報し対処する。
 - エ 敷地外周の樹木剪定・消毒に努め、近隣住民からの理解を得る。
- 11 図書室
 - ア 生徒の「読みたい」「知りたい」読書環境を充実させる。
 - ・生徒の自発学習・自発読書環境を整備する。
 - ・図書館管理システムにより運営する。
 - ・生徒の図書委員会活動を充実させる。
 - イ 英語多読ルーム、多読コーナーを充実させる。
 - ・英語における自発学習環境を整備する。
 - ウ 都立6高校図書館ネットワーク事業を推進する。

重
点
目
標
と
方
策

1 学習指導

- ア 一人一人の進路希望に応じた履修事例を明示する。
- イ 授業実践委員会の研究協議を授業改善に活かす。
- ウ 言語活動をはじめ、体験的な学習活動を積極的に導入する。
- 2 キャリア教育指導
 - ア 学力向上・進路実現を目指すキャリア教育全体計画を立案し、組織的・計画的な実践を推進する。
 - イ 社会体験日、授業発表会等の体験学習を推進する。
- 3 生徒指導
 - ア 文化祭、みのり杯への生徒の主体的な参加を通して、自主性や自発性を培う。
- 4 保健指導
 - ア 保健室・相談室の相談機能を向上させる。
- 5 募集・広報活動
 - ア 個別相談等の機会を通して、本校の理念、特色をPRする。
 - イ Web ページを充実させ、募集・広報活動を推進する。
- 6 学校経営
 - ア 市民講演や関係機関等の学校外の教育力を活用する。
 - イ 芸術等の生徒作品や写真を校内随所に展示し、生徒の学習へのモチベーションや帰属意識を高める。